



2025年3月24日

カテゴリ: 地域活性化

JAL、地域活性化に向け和歌山県と包括連携協定を締結

JALは、2025年3月24日、和歌山県(本庁:和歌山県和歌山市、知事:岸本周平)と包括連携協定を締結しました。この協定は、和歌山県の地域課題に対して双方の物的・人的・知的資源を活用し、地域の活性化と持続可能な地域づくり、さらには紀伊半島全体の価値向上を推進することを目的としており、熊野白浜リゾート空港の利用促進も目指しています。



JALは1968年から熊野白浜リゾート空港(就航当時:南紀白浜空港)に就航しており、現在は東京(羽田)=南紀白浜線を毎日6便(往復3便)運航しており、この路線を維持することで、和歌山県の活性化に貢献してきました。

近年、JALは和歌山県と、閑散期対策や若年層の誘客を目的としたスカイメイトキャンペーンの実施、紀伊半島全体へのインバウンド旅客誘致を目的としたファミトリップの実施など、互いのリソースを活用して地域振興に貢献する施策を展開しています。

今回の包括連携協定では、2030年までに熊野白浜リゾート空港の旅客数を32万人、インバウンド旅客数を6万人に増やすことを目指し、JALのアセットを活用して以下7つの事項に取り組むことで、社会的・経済的価値を創出し、地域全体の価値向上を図ります。

■ 連携協定事項

- ① 熊野白浜リゾート空港の利用促進
- ② 和歌山県および紀伊半島全体での訪日外国人旅行者の誘客
- ③ 熊野白浜リゾート空港をはじめとする和歌山県の認知度向上
- ④ 和歌山県産品のプロモーションと首都圏への輸送
- ⑤ 持続可能な観光地域づくりおよび交流人口の拡大
- ⑥ 脱炭素化の推進
- ⑦ その他、和歌山県の活性化に資する取り組み

以上の取り組みにより、JALは和歌山県と地域の持続可能な発展と価値向上を目指してまいります。